



多くの人に惜しまれつつ下ろされたのれん

## ちいらい茶屋 惜しまれつつ閉館 フィナーレイベント盛大に

故・地井武男さんの愛用品などの展示や自宅アトリエを再現し、平成25年に3年間の期間限定でオープンした「地井武男ふれあい記念館（愛称・ちいらい茶屋）」のフィナーレイベントが7月25日、市場まつりに合わせて行われました。

イベントには、関係者の他、地井さんの妻・三樹子さんも出席し、惜しむ様子で記念館ののれんを下ろしました。その後、三樹子さんが打ち鳴らした拍子木を合図に、地井さんの地元・西本町区と東本町区の神輿が繰り出し、市場まつりに訪れた大勢の見物客に囲まれ、盛大なフィナーレが飾られました。



多くの来場者でにぎわう本町通り商店街



神輿が繰り出され、盛大にフィナーレを飾る

## 半世紀かけ開花のビックリ植物

### 7m超すリュウゼツラン

栄地区堀川の越川広康さん宅でこの夏、数十年かけて成長し一度だけ花を咲かせたのちに枯死してしまうメキシコ原産の大型常緑多年草、リュウゼツランが開花しました。

越川さんの祖母が自宅に苗を植えて以来50年以上が経ち、今年5月に入ってから花茎が伸び出すと、最盛期には1日に10cm程度のペースで急成長。7mを超す高さまで到達し、8月1日から多数のあざやかな淡黄色の花を咲かせました。

越川さんは、半世紀越しの開花に「まさかこんなに大きくなるとは」と驚きの表情を見せていました。



軒をはるかに超す高さまで成長したリュウゼツラン

堀川浜で清掃活動を行う学生ら



大学生が中心となって徒歩で九十九里海岸全域の清掃を行う「九十九里浜全域清掃大作戦」が、8月21～23日の3日間実施されました。この活動は、NPO法人国際ボランティア学生協会が主催するもので、全国から参加した約350人の学生が、海岸全長約66kmの清掃を行いました。

本市域では初日に実施され、同協会の西優凜さん（法政大学3年）は、「学生の若い力・元気強さを生かし、一致団結してごみを拾いたい」と意気込みを語りました。その後、堀川浜に集合した学生たちと一緒に、横芝光町木戸浜まで約2時間かけて歩き、流れ着いたプラスチックなどの小さなごみも見逃さずに拾い集めました。

一致団結し、ごみ拾い  
九十九里浜全域清掃大作戦

# 匠瑳の夏

## 祭りと伝統行事

6月から8月にかけて、市内の各地区で祭りや伝統行事が行われました。取材に伺った、夏のワンカットを紹介します。

### 7/18 東谷 八坂神社祇園祭

「けんか神輿」との異名をとる、激しい揉み方が特徴。神輿を地面に押し倒すと見物人から歓声が上がりました。



威勢よく倒される神輿

### 7/25 駒まね

八重垣神社境内の一隅に注連縄を張って祭場を設け、そこで青竹を焼き上げ五穀豊穡、商売繁盛、無病息災を祈りました。



長蛇の列を作る参拝者

### 8/15 大浦の花火

メッセージを込めて打ち上げられた約100発の花火が、多くの見物人を魅了しました。



夜空に上がる大輪の花

神社に奉納される囃子



6/14 野手 八雲神社祭礼  
八雲神社祭礼囃子保存会により、五穀豊穡と商売繁盛を祈り、全20曲の囃子が奉納されました。

有志による踊り



7/23 のさか ふれあい祭り  
子どもみこしの渡御やピアノダンスなどが催され、特設のやぐらの前では踊りが披露されました。

白装束をまとった御神幸行列



7/23~24 中央地区富谷 愛宕神社祭礼  
23日は、巫女舞と御神幸行列が囃子に合わせて地区内を巡行。24日は、神輿が練り歩きました。

### 8/14 片子の盆綱

各家庭から持ち寄ったわらで、20mにも達する綱が編み上げられ、妙印寺境内の2本の大木の間で吊るされました。



息を合わせ、綱を編み上げる



盛り上がる担ぎ手たち

7/30~31 中央地区菟部田 星宮神社祭礼  
30日は、子ども向けの出店が並ぶ「祭り広場」を開催。26日は、3基の神輿が練り出し、地区内を渡御しました。



威勢よく担がれる子ども神輿

8/15 西小笹青少年 健全育成祭り  
八幡神社の祭礼に合わせて、スイカ割りや輪投げなどを開催。子ども神輿が地区内を渡御し、にぎわいました。